

林 大 の 風

第12号

高知県立林業大学校

岐阜県立森林文化アカデミー との合同講座

2月17日は岐阜県立森林文化アカデミーと当校との初めての合同講座を開催しました。

当日は、アカデミーから当校の専攻課程木造設計コースで「温熱・省エネ環境設計」を教えていただいている辻充孝先生と松井匠先生が木造建築専攻の学生7名を引率し、木造設計コースの研修生と一緒に授業を受けました。

記念すべき合同講座は当校の「設計・製図」を担当していただいている細木淳先生を講師としてお招きし、「高知の木造建築とCLT建築物の設計手法」をテーマにご講義をいただきました。細木先生は当校校舎の意匠を手掛けられるなど当校との関わりが深く、当校校舎をはじめとした数多くの中大規模の木造建築についてご解説いただきました。

わずかな時間でしたが、両校の研修生が木造建築の設計手法を共に学び、交流を深める有意義な講座となりました。



▶岐阜県立森林文化アカデミーの皆様

現在、全国で18校ある林業大学校のうち、木造建築コースがあるのは岐阜と高知のみ。数少ない木造設計コースを持つ両校が力を合わせて、これからの木造建築を牽引していきたいと思えます。

高知県立林業大学校地域懇談会

令和2年2月21日、地域や林業・木材産業等の関係者を集め地域懇談会を開催しました。

この会は、地域や林業・木材産業等の関係者の共通理解を深め、連携協力して全国に開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地元の行政機関や教育機関をはじめ、業界関係団体、試験研究機関等の皆様にご出席いただき毎年開催しています。

今年度は15名の方々にご参加いただき、高知県森林組合連合会会長の戸田昭氏を座長に選出し、「地域が求める人材の育成」や「地域づくりや地域課題に貢献する知識と技術の提供」「教育機関との連携のあり方」についてご協議いただきました。

出席者からは「年々、研修生の質が上がっている。」「山川海を大切に育林を重視したカリキュラムで地域が求める人材を育成してほしい。」「林業木材産業は地球環境を守る重要な産業であり誇りを持てる仕事。地球環境を守る産業の担い手を育ててほしい。」などの要望がありました。



▶地域懇談会の様子

また、「教育機関との連携のあり方」では、教育関係者から「少子高齢化が進んでいる。地域の学校同士が連携し多様な学びを進める仕組みづくりを共に進めていきたい。」と大変心強いお言葉もいただくなど、参加された皆様から温かい建設的なご意見・ご助言をいただきました。

林業大学校では地域の方々の声を学校運営に反映し、教育環境の充実、強化を進めるとともに、林業・木材産業を活性化する画期的なアイデアを生む人材のプラットフォームを目指して更なる魅力的な学校づくりに取り組んでまいります。

日々の”活動報告”やっています！

高知県立林業大学校

